

タダほど高いものはない #60秒情報モラル キーワード #無料Wi-Fi #情報流出 #パスワード この動画の活用にあたって 公共施設や飲食店など、無料のWi-Fiが備わっている場所が増え、外出先でも気軽にインターネットに接続できます。しかし一方で、悪意のあるWi-Fiにつなげたことで、個人情報盗まれ、第三者のなりすましによる不正アクセスに遭うという事例が発生しています。近くに掲示されているステッカー等から、誰が提供しているWi-Fiなのか、確認してから接続することが大切です。さらに、端末に表示される接続先の名前（SSID）が、案内しているものと同じかどうか確認することも重要です。	動画の流れ  パスワードなしでWi-Fiが使える 無料で使えるWi-Fiを探している最中、パスワードを入力しなくても使えるWi-Fiを発見する。	気付かせたいことのみ安			□ 補足・解説 ◆ StepUp アクティビティ
		★(小1~3)	★★(小4~6)	★★★(中1~高3)	
	 メールアドレスの登録は面倒だな メールアドレスを登録することにわずらわしさを感じ、Wi-Fiの使用を諦める。		□ メールアドレスの入力は、無料Wi-Fiの提供者が利用者を確認するために必要。		
	 よし！つながったぞ 別のWi-Fiを選択すると、簡単に接続できた。		□ 公式の無料Wi-Fiになりすました悪意のあるWi-Fiの可能性はある。		□ 「0000JAPAN」とは、災害時に利用できる無料Wi-Fiですが、利便性を重視し、暗号化などのセキュリティ対策が講じられていないので、個人情報は入力せず、使用は最低限に留める必要があります。
	 これで何でも調べ放題だ！ 接続できたWi-Fiを使用してネット検索をする。	□ Wi-Fiに接続することでインターネットを利用できる。			◆ 無料Wi-Fiスポットがどこにあるか考えてみよう。
	 よく分からないメッセージが出るな 警告画面が出ても無視する。	□ 警告画面を無視している。			◆ 接続したWi-Fiが安全かどうか確かめる方法を考えよう。
動画はこちら 	 今度はアプリを使おう！ 接続できたWi-Fiを使用してアプリにログインする。	□ 設置者の分からない無料Wi-Fiやセキュリティの低い無料Wi-Fiに接続して個人情報を入力すると、個人情報を盗まれる可能性がある。			